

## 上関まちづくりミーティングより 上関町の強み・弱み

### ◎上関まちづくりミーティングについて

8月11日(土)上関町中央公民館において開催された「第1回上関まちづくりミーティング」主催 瀬戸内まちづくり研究会(以下「研究会」)には、上関町の内外から約20名の皆さんが参加されました。

今回が1回目の開催となります。まずは上関町の「強み(良いところ)」と「弱み(困っているところ)」をあげてみよう。参加者全員でそれぞれ思いをつくことを発表していききました。たくさんのお意見が出てきましたので、今回「わいわいタイムス」でも、その一部を紹介させていただきます。これらの意見をヒントにして、私たちの町が活性化するために、あるいは住みやすい町にするために、今後どうしていくかに重点をおけばいいの、みんな考えていける材料になればと思います。



上関の港から皇座山と上関大橋を望む

### ◎上関町の「強み」

《豊かな自然》「豊かな自然と共存して暮らせる」「風景が良い」「海洋資源が(魚貝藻類)が豊富」「空・海等 自然環境が良い」「自然のままの風景が残っている(写真スポットが多い)」「魚種がケタ違いに多く、大変豊かである」「海がきれい、透

明度が高い」「海を利用した観光ができる」「家を出たらすぐきれいな海」「海が近い」

《美味しいもの》「魚が新鮮」「魚がおいしい」「ピフやミカンが美味しい」「天ぷらが旨い」「伝統的な食文化や料理法が残っているのでは」

《歴史のまち》「歴史資源が多い」「長い歴史を感じられる風土」「歴史的な資源が豊か」「源平や明治維新などの歴史的な史跡が多く残っている」「明治維新の始まりの町・歴史の町」「歴史的資源がある」

《地域のつながり》「集落にまとまっていてコンパクト、歩いてコトが済む」「地域のつながりが強い、家から出たらすぐ知り合いがいる」「一人一人の顔が見える」「人情に厚い(気軽に近所付き合いができる)」

《住みやすい環境》「静か、ホッとできる雰囲気」「車が少なく、のんびりした感じ」「騒音が少なく静か。よく眠れる」「気候が温暖で暮らしやすい」「生活費があまりかからない」「自給自足がやりやすい(海・畑)」「携帯の電波が弱く、自分には住みやすい」「インターネットができる」「仕事と生活の一体感」

《観光》「魚釣りができる」「特徴的な地形 半島 上関と向き合った室津、祝島」「なつかしい町並み」「港がある」「地名がよい」「祝島 神舞、万葉集、平さんの棚田の石垣、段々畑、豚の放牧、練堀など」「源平合戦はこの辺でカタがついていたことをアピールを」「定期船は景色がいいので、観光船にできる」「グリーンツーリズムが可能」「アトリエ、ギャラリーなどを設け、芸術家好みの町が可能」「自然・

町並み、歴史的な観光資源が豊富(上盛山展望台の景色は世界最高では)」「室津半島がベビーブーツの形、瀬戸内のイタリヤ(伊はロングブーツ)」「観光資源が豊富であり周辺とのルート化で事業化できる」

《産業》「海洋資源を使った仕事が可能」「農業、漁業のネット販売など6次産業化で仕事を増やすことができる」「海を使った商売ができる」「観光農業・観光漁業なら直販ができる」「職住近接が実現できる(地元で働ければ1次産業が強い)」

### ◎上関町の「弱み」

《少子高齢化》「高齢化で若い人が少なく、人材が少ない」「老人がほとんどひとり暮らし、どうしてケアしていくか」「過疎化が進んで、働き場もなく、人口が少なくなる」「小・中学校が遠く(四代、白井田、浦井)地区の過疎化が進む」

《不便》「商店が少ない」「スーパーやコンビニに慣れて生きたので、買い物が大変」「大きなスーパーまで遠い」「交通アクセスが良くない」「車がないと通勤・通学・買い物・病院通いが不便」

《医療》「医師が上関、室津、祝島に各一人、病気の時に困る」「祝島、八島はいざというときに船で病院に行くのが大変」「病院の外来で2時間以上待たねばなら



上盛山展望台からの眺めは世界一!!

ない」「病気のときに困るので、住めない」

《産業》「働き場がない」「サラリーマンになりたい人にとっては働く場がない」「離島(八島)の商店が成り立たない」「物流経費がかかる」「販売農家が少なく、農業者の所得が少ない」「魚価が安い。漁民はキロ単位で売り、我々はグラムで買う」「農地が少ない」「平野平地が少ない」「事業者数が少ない」「税金が少ない」「素晴らしい海を活用できていない」「町外から訪れても、お金を落とす場が少ない」

《その他》「下水道の普及が遅れている(若い人が住みにくい、浄化槽をつけるべき)」「教育費がかかる(下宿など)」「海はきれいだ、港はゴミが多い。町の対応や住民のモラルに問題」「原発賛否で人間関係が疑心暗鬼となり、不幸なことだ」「一人一人の顔が見えるのがマイナスになるケースも」「部落意識が強く、町全体を考へることが少ない」「足をひっぱりやすい。(地元では、やばるのが多いとも)」「危機感がない」

### ◎みんなで考え、実行しよう

私たちの町の将来は、私たちの考えと行動によって決まってきます。みんなで協力して、強みを活かし、弱みを減らすことで、よりよい地域社会をつくっていきましょう。

この会を主催した「瀬戸内まちづくり研究会」では、今後、これらの意見を基にして検討を重ね、上関町の活性化や住みやすい地域づくりについてのアイデアをまとめる予定です。ぜひ、上関のまちづくりに役立てていただきたい、としています。